

地図をもっと活用しよう！ その2

～小学3年生 地図をたくさん描かせて慣れ親しませる～

地図学習がスタートする小学3年生では、地図に慣れ親しませるために、絵地図をたくさん描かせることが大切です。小学3年生という発達段階を考慮して、たとえ稚拙な絵地図であってもかまいませんので、様々な学習場面で、絵地図を描かせてほしいと思います。

今回は、「スーパーマーケットの仕事」の単元を例に、どのような絵地図を描かせたらよいかについて紹介します。

《小学3年「スーパーマーケットの仕事」における絵地図》

- 学校から見学に行くスーパーマーケットまでの絵地図
- スーパーマーケット周辺の絵地図



見学に行く際などに、学校とスーパーマーケットの間に何があって、どの道を通って移動したのかを絵地図に描かせたり、スーパーマーケットの周りには何があるのか（※複合商業施設等）を絵地図に描かせたりします。

このような絵地図を描くことで、次の例に挙げたような子どもの思考も期待できます。

〈子どもの思考例〉



学校からスーパーマーケットに行くまでには、自動車がいっぱい走っている大きな道路がありました。自動車で買い物に来るのに便利な場所かもしれないな。

スーパーマーケットの駐車場の周りには、本屋さんや靴屋さん、クリーニング屋さんなどの色々なお店があるけれど、お店の人たちが話し合ってお店を出したのかなあ？



小学3年生では、完成された地図を読み取る学習に留まらず、自分の手で絵地図を描く活動を通して、地図に慣れ親しませることが大切です。絵地図を描く活動を通して、子どもの社会的事象に対する思考も促されます。